

【地歴・公民】

平成 2 5 年度

指導と評価の年間計画（シラバス）

盛岡工業高校 全日制課程

教科	地理 A	単位数	2	学科・学年	1 年全学科	担当者	三神寛 眞下徹					
使用教科書	第一学習社『高等学校地理 A』 帝国書院『新詳高等地図』	副教材	とうほう『フォトグラフィア地理図説』 第一学習社『改訂版地理 A ノート』									
<p>■到達目標 現代社会の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p> <p>■具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】○定期考査において基礎・基本的内容の定着を図り、授業内容の理解度を評価する。○小プリントやワークノートによる作業的・体験的学習によって、資料活用の技能の向上を目指す。○新聞記事や副教材の資料から自分の考えを主体的に主張できる力を身につける。○デジタルコンテンツや歴史的史料を積極的に活用し、興味・関心を喚起するとともに、授業の理解を深める。○意欲ある生徒に対しては発展的な課題も提示してさらなる成長を促す。○第 1 編は内容が難しいため、生徒の実態に応じて第 2・3 編を先に実施する場合がある。</p> <p>■評価上特に重視する観点○授業態度と課題の提出は特に重視して評価する。また、欠席や忘れ物がないように各自留意すること。</p>							評価の重点		関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用 の技能・ 表現	知識・ 理解
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法								
前期 中間	4	1-1 地球儀や地図でとらえる現代世界	○地球儀等を利用し、球面で世界をとらえる ○国家の領域を理解させ、国境や領土をめぐる紛争や対立について考察する。	授業態度 発言の積極性 単元後の小テスト など	◎	○	◎	○				
	5		○交通機関や情報通信技術の発達にもなう世界の相対的縮小、一体化について理解する。									
	6	1-2 世界の人々を取りまく地理的環境	○写真や地図を通して、世界的視野で自然環境をとらえる視点を持つ。	ノート提出 前期中間考査	◎	○	◎	○				
前期 末	6	1-2 世界の人々を取りまく地理的環境	○各地の自然条件に基づいて育まれた生活・文化、産業活動について理解する。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テスト など	◎	◎	○	◎				
	7	1-3 世界の諸地域の生活・文化と環境	○世界諸地域の生活文化について様々な資料を収集、分析する。 ○民族性や地理的環境と関連付けて世界諸地域の生活文化を考える。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テスト など								
	8		○世界諸地域の衣食住などについて体験的な学習を行う。 ○異文化を適切に理解・尊重する態度を身につける。	ノート提出 前期末考査	◎	◎	○	◎				
	9											
後期 中間	9	1-3 世界の諸地域の生活・文化と環境	○世界諸地域と日本とのつながりについて理解を深める。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テスト など	◎	◎	○	◎				
	10	1-4 さまざまな地球的課題	○人口問題、食糧問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題など、地球的課題の存在を認識させる。 ○持続可能な社会の実現に向けて、個人、地域社会、国、国際社会といった様々なレベルでなすべき行動について考察を深める。	授業態度 発言の積極性 ノート提出 後期中間考査	◎	◎	◎	◎				
	11											
後期 末	11	2-1 日常生活と結びついた地図	○我々の生活に欠かせない「地図」を読みこなせるよう、地図表現等基礎的な知識・技術を学習する。 ○読図の演習(トレーニング)を行う。 ○地形図を活用するための基礎的な知識を学習し、演習を行う。	授業態度 発言の積極性 発言後の小テスト など レポート提出	◎	◎	◎	◎				
	12											
	1	2-2 自然環境と防災	○日本の気候と地形の特徴について理解を深める。 ○自然災害の事例を通して災害の特徴や地域性を学び、災害に備える。	授業態度 発言の積極性 学年末考査 レポート提出	◎	◎	○	◎				
	2	2-3 生活圏の地理的な諸課題と地域調査	○地域の特徴や抱えている課題について考える「地域調査」の方法を学ぶ。	ノート提出 学年末考査	◎	◎	◎	◎				
	3	おわりに (学習のまとめと反省)	○1年間の学習の総確認を行う。	作文 レポート提出	◎	○	◎	○				